

所在地：福井県福井市ほか  
 認証：JGAP 団体認証(R2)  
 応募区分：団体の部

栽培面積：約 500ha (JGAP 認証農場)  
 構成員：19 農場 (うち 11 農場が JGAP 認証農場)  
 栽培品目：水稲

## 取組の紹介

### 【GAP に取り組んだきっかけ】

- 福井県では県が中心となって GAP の推進に注力し、普及指導員が GAP を指導するとともに、その指導を受けた農家が地域の農家を指導する取組を推進。
- GAP に関心を持つ稲作の認定農業者 (11 農場) が会員となり、GAP を県下に普及するため、平成 31 年に Fukui GAP Association (FGA) を設立。令和 2 年に穀物(米)で JGAP 団体認証取得。



FGA 設立総会

### 【GAP の継続に向けた取組】

- 令和 2 年度、県下初の JGAP 団体認証(穀物)を取得。(全国 4 件のうちの 1 件)
- 会員が県下に散在するため、JA 等が事務局となり認証取得手続きを進める従来の団体認証の方式ではなく、会員間で話し合いながら必要な対応を進める新たな方式を構築。
- 設立当時、会員 11 農場のうち 10 農場で JGAP 団体認証を取得。会員が講師となり GAP への関心が高い県内の農業者を指導し、令和 3 年度に、会員を 19 農場に増やし、うち新たに JGAP 認証の適合基準をクリアできるレベルに到達したことが確認された農場を加え、団体認証の構成員を 13 農場に増やす予定。
- 県の要請に応じて会員を GAP 講師として派遣。GAP 初心者向けに、GAP の理解が進むよう「GAP 手引書」を独自に作成し、希望する農業者に配布し指導。



FGA 参加会員の勉強会

(2 か月に 1 回実施)

### 【生産効率等の向上に向けた取組とその効果】

- 会員の優れた改善例やリスクを共有するため、勉強会や現地検討会を定期的で開催し、乾燥機やドローン防除等の「ヒヤリ、ハット」と対策を共有。会員間で作業ミスの事例等を発表し合い、再発防止策を検討し、事故の未然防止につなげている。



FGA が作成した「GAP 手引書」

### 【波及効果】

- GAP 認証米を有利販売するため、県下でエシカル消費を推進する県民生協と契約し、GAP を PR するオリジナルパッケージによる GAP 認証米 3,000 俵を、非 GAP 認証米との単価差約 1,000 円/俵で販売。